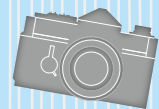


# まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



## 福津の魚が勢ぞろい

魚センターがリニューアルオープン



▲開店と同時にたくさんの買い物客が押し寄せました

津屋崎漁港にある市魚センター、通称「お魚センターうみがめ」が4月20日にリニューアルオープンしました。平成17年の開館以来、市内などで水揚げされた魚介類を販売してきた魚センター。今回の改装で、生け簀を改修し、売り場を広げた他、建物の外に水産物加工場を設けました。また、魚センターでは新たにあんずの里市や、ふれあい広場ふくまで販売されている新鮮な野菜などが買えるようになりました。

開店を前に記念式典は、同日開催されていた、よっちゃん祭のステージで行いました。魚センターを4月から運営している地域商社福津いざいの森田誠代表理事は「皆さんに魚センターを利用してもらい、福津の農水産品の良さを広めてほしい」と話しました。また、福間・津屋崎の漁業者の代表など関係者によるリニューアルオープンを祝した餅まきもあり、たくさんの人が集まりました。

## 津屋崎千軒一帯が祭りの会場に

第22回津屋崎千軒よっちゃん祭



▲たくさんの人が来たよっちゃん祭

津屋崎千軒よっちゃん祭が4月20日と21日に開催されました。「よっちゃん」とは「立ち寄って」「(新酒に)酔って」の2つの言葉に由来します。今年は両日も天気恵まれ、大勢の人でにぎわいました。

手作りのものを販売する出店や、各ステージの音楽ライブの他、津屋崎祇園山笠振興会の指導による子ども山笠がまちを駆け、街中がイベント会場に。特に今年は漁業と商業、農業の3つのなりわいで栄えた津屋崎千軒にちなんだ「漁師めし」「角打豊村」「農家めし」も販売されていました。家族連れで来ていた女性は「広報に折り込まれていたパンフレットを見てこのイベントを知った。福津に移り住んできて、初めて津屋崎千軒を歩いたが、風情があり、好きになった」と話してくれました。

## 一番目指して光の道ダッシュ

開運一番駆け



▲桜が満開の参道を走る参加者

毎年宮地嶽神社で行われる開運一番駆けが、4月7日にありました。子ども、男性、女性の中からそれぞれの開運一番を決める伝統行事。子ども部では市内在住の橋本康平さんが一番になりました。橋本さんは「兄が以前一番になっていたのうれし。参加して良かった」と話してくれました。この行事は参加者にも地元企業の協賛品や福津の魚、花などが抽選で当たるチャンスがあり、当選した人は喜んでいました。

## 思い出の福津でライブ

ミサンガがよっちゃん祭に出演



▲津屋崎海岸での思い出も語ったミサンガ

4月21日のよっちゃん祭では、市親善大使のミサンガが出演。一目見ようとおよそ100人が会場に集まりました。3人の奏でる音楽に合わせて、観客も手拍子をしていました。市内在住で母と来ていた福田あいさんは「ミサンガが出演すると聞いて来た。きれいな歌声に感動した。友達にも紹介したい」と笑顔で話してくれました。

## バレエの本場で金メダル

第1回日露ユーラシア国際バレエコンクール



▲大会最年少の6歳で参加した福井さん

福間南小学校に通う福井優利愛さんが、日露ユーラシア国際バレエコンクールでZAMUE特別賞の金メダルを受賞しました。この大会は4月28日から7日間、日露国交復活60周年記念のイベントとして、ロシアのブリヤート国立歌劇場で行われました。ロシアはクラシックバレエの本場。福井さんは「大きな拍手がもらえるような演技が目標だった。メダルがもらえるなんて思っていなかった」とうれしそうに話してくれました。

## いつもの道こそ要注意

春の交通安全県民運動



▲福間南小前交差点での街頭指導

春の交通安全県民運動が5月11日から5月20日まで行われました。市内では期間中の早朝に、原崎市長や江上議長、柴田教育長などが交差点に立ち、街頭指導を強化しました。市内では昨年1年間に285件の交通事故が発生しましたが、幸い亡くなった人はいませんでした。一人一人が交通安全を守り今年も死亡事故ゼロを目指しましょう。